

上原翔 (三重大学医学部附属病院)

2017年スタートの月に紀南病院で1か月間お世話になりました。研修医として1月は正月や連休で最も短かったように思います。その中でも、病棟以外にも診療所や離島研修など組み込んで頂きました。最も強烈だったのが、離島研修(神島診療所)です。沖縄本島出身の僕ですが、粟国島に父の仕事関係で宿泊したくらいです。しかも小学生の時に。離島で宿泊し、地元の人に出会う経験は今後も滅多にないことだと思えます。また、荒坂診療所も自分にとっては強烈な思い出になりました。紀南病院では病棟をうろろしておりました。何も出来ないなりに看護師さんに声をかけて頂き、自分なりに動こうとはしたつもりです。病院によって考えや方針など戸惑うこともありましたが、他病院に比べ比較的早くオーダーなど業務になれたのもスタッフの心がけがあったからだと思います。特にHCU・救外の看護師さんにはよくして頂き慣れない環境でそれなりに慣れたふりが出来たと思えます(笑)地域医療を通して、地域の方の考え方やその地域の医療人の考え方に少し触れることが出来た1か月になりました。来年度からは呼吸内科を中心に勉強していきます！病院に来るかは分かりませんが、何かの機会に紀南地区に来たいと思えます。有難うございました。

和田晃宜

(東京大学医学部附属病院)

1ヶ月目の地域研修を終えていつも大変御世話になっております。紀南病院に1~3月までお世話になる研修医の和田です。紀南病院は綺麗な海が見え、温かい雰囲気のとて居心地の良いところで今回来させていだいて本当に良かったと感じています。紀南病院に来て1か月間が経ち、様々な経験をさせていただきました。この一か月間は様々なことに慣れるため精一杯過ごした1か月間でした。指導医の濱口先生には基本的なことから教えていただいています。また他の先生方、看護師さん、多職種の方からもたくさんのことを教えていただいています。往診やミニタウンミーティングなど多くの機会をいただき色々な視点で医療を考えるきっかけになりました。3月までまだ2か月間お世話になります。ご迷惑をおかけしている部分も多々ありますが、これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

松波山水 (三重大学医学部附属病院)

研修医の松波です。紀南病院での通算6か月の研修を終えました。前は5か月間いたので、今回1ヶ月だけだったのは少し寂しい気がします。外科で研修させていただき、手術を中心に様々なことを学ぶことができました。情けないことに勉強不足な点が多々ありましたが、小出先生・奥田先生に御指導いただき、有意義な研修となりました。もともと学生の頃から内科志望だったこともあり、手術に対する苦手意識は今でもあります。ですが、今後は整形外科として頑張ろうと思っているので、一般外科としての経験も欠かせません。研修医の2年間で外科研修の期間は少なかったのですが、貴重な1ヶ月となりました。どうして整形外科になるかという、思い返せば大学6年生の春、紀南病院整形外科で実習したことがそもそものきっかけだったのかもしれない。それから整形外科の先生と親しくなるうちに、内科になるつもりだった僕が整形外科志望に。なんというマジックでしょう！学生時代の同級生や研修医の同期も、家族までびっくりしています。5か月間内科研修をしていたので、皆さんも驚いたかもしれませんね。今回1ヶ月だけですが紀南病院に帰ってきて、本当に楽しかったです。現在紀南病院で働いている医師の中で、ほぼ僕だけ(院長先生も)が紀南出身だと思うと、地元の病院で働けることは幸せなのかもしれないと思いました。もしかしたら全国的にみても自分の地元で働いている医師は少ないのかもしれない。僕と同じように紀南病院で長期間研修する研修医が4月以降増えると思います。紀南出身であり、僕の可愛い後輩達ですので、どうか温かい目で見守ってください。2015年12月に研修に来たばかりの自分と比べて少しは大きくなれたかなと思っていますが、まだまだこれからが本番、楽しむことを忘れずに医師生活を頑張っていきます。ありがとうございました。辛いこともあると思いますが、そんなことは笑い飛ばして皆さんも頑張ってください。たまには運動もしましょう。いつか再び一緒に働けることを願いつつ、さようなら！重ね重ねになりますが、研修を受け入れてくださった外科の先生方を始め、お世話になった内科・整形外科の先生方、そしてスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。

